



しおかぜ

うしおだしょうがっこう しゅうねん つ
潮田小学校 150周年「継ぐ」から「つなぐ」

じどうかい
児童会スローガン「ワールド フラワー ガーデン」



https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/ushioda/
school/es/ushioda/ https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/ushioda/ https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/ushioda/

よこはましりつうしおだしょうがっこう
横浜市立潮田小学校
2023年6月30日



おたがいさま おかげさま

こうちやう こいずみ ひろし
校長 小泉 博史

5月は5年生の君津筆山宿泊体験学習へ、6月は6年生の御殿場宿泊体験学習に引率として参加しました。そこで、お互いに声をかけ合い、助け合う姿がたくさん見られました。とてもうれしい気持ちになりました。「シーツたたむの手伝うよ。一緒にやろう。」「集合時刻に間に合うようにそろって出発しよう。」自分のことだけを行うのではなく、班や部屋の仲間としてお互いのことを考え、声をかけ合う姿は、高学年としてふさわしい姿でした。これからの日常生活でも、このような姿がたくさん見られると嬉しいなと思います。



宿泊体験学習で上記のような子どもたちの姿を見たとき、ある言葉が思いつきました。それは「おかげさま」という言葉です。

「人に迷惑をかけてはいけない。」確かに故意に迷惑をかけるのは絶対にいけないと思います。しかし、人と人がかかわって生活をする中では、故意ではなくても多かれ少なかれ迷惑をかけることはたくさんあるのではないのでしょうか。宿泊体験学習で見られたように、片付けの苦手な子がいて、部屋全体の時間がかかってしまう。時計係が、時刻を気にせず班全体が遅れてしまう。こんな場面に出合ったとき、助けてもらった子どもたちの心の中に「きみのおかげで助かったよ。ありがとう。」という気持ちが生まれているに違いないと思いました。そんな心が広がったから、宿泊体験学習中の子どもたちの雰囲気はとてもよかったのではないのでしょうか。

人は決して一人では生きていません。様々な誰かのおかげで生きていることを子どもたちに教えていきたいと思えます。そして人との関わりの中でもう一つ考えてほしい言葉。それは「おたがいさま」です。集団（家族・学級・学校・地域・社会等）で生活をしていれば、迷惑をかけたり、かけられたりすることは当たり前のように



起こります。その時に「迷惑をかけられた。」と文句を言うのか、「自分も迷惑をかけることもあるよな。おたがいさまだから助けてよう。」と考えるかは、大きな違いです。5年生、6年生の気持ちの中に「おかげさま・おたがいさま」という言葉はなかったかもしれませんが、私には子どもたちがそう意識して行動しているように映りました。

7月は4年生の野島宿泊体験学習があります。子どもたちの間にたくさんの「おたがいさま・おかげさま」が行き交うと嬉しいです。